

一般財団法人 港湾空港総合技術センターにおける役員選任に
関する透明性の確保について

- 1 一般財団法人 港湾空港総合技術センターは、港湾、海岸、空港及び海洋施設の建設・維持管理事業の技術及びシステムに関する調査研究の推進並びに事業実施の支援等を行い、もって港湾整備及び空港整備の推進と我が国経済の発展に寄与することを目的としている。
- 2 当法人では、役員選任に関する透明性を確保するため、外部有識者を委員とした役員候補者審査会を設置し、役員候補者の審査を行うこととしており、令和7年5月15日開催の第13回役員候補者審査会において、以下のとおり理事候補者並びに監事候補者を選定し、令和7年5月21日開催の第44回理事会に審査結果を報告した。

理事候補者 鈴木 徹（すずき とおる）

就任年月日 令和7年6月10日

選定の理由 技術行政官として、主として国が行う港湾、空港等の整備に係る各種事業の推進や調整を図るなど、港湾・空港分野の整備事業に精通するとともに、国が行う交通インフラ整備の技術・行政全般について先導してきた。

同氏は、SCOPEの経営をより良い方向に導くに当たっての幅広い知識と技術力並びに高い指導力を有していることから、当法人の理事として適任である。

理事候補者 中島 靖（なかじま やすし）

就任年月日 令和7年6月10日

選定の理由 技術行政官として、主として国が行う港湾、空港等の整備に係る各種事業の推進や調整を図るなど、港湾・空港分野の整備事業に精通するとともに、国が行う交通インフラ整備の技術・行政全般について先導してきた。

同氏は、SCOPEの経営をより良い方向に導くに当たっての幅広い知識と技術力並びに高い指導力を有していることから、当法人の理事として適任である。

理事候補者 松原 裕（まつばら ゆたか）

就任年月日 令和7年6月10日

選定の理由 技術行政官として、主として国が行う港湾・空港等の行政運営の中心的役割を担い各種事業を推進するなど、港湾・空港分野の整備事業に精通すると

ともに、国が行う交通インフラ整備の技術・行政全般について主導してきた。

同氏は、港湾・空港分野における豊富な知見を有し、高度な判断力など組織マネジメントに必要とされる能力・資質を十分に備えていることから、当法人の理事として適任である。

監事候補者 細川 恭史（ほそかわ やすし）

就任年月日 令和7年6月10日

選定の理由 国立研究機関の研究者として、長く沿岸環境技術の研究に従事するとともに、法人役員等の経歴を持ち、一般財団法人に関する法律や法人の財務管理に関する高度な知識と経験を有している。

同氏は、SCOPEの監査を公正かつ適切に遂行するに当たっての幅広い知識と経験並びに高い指導力を有していることから、当法人の監事として適任である。

- 3 第44回理事会において、上記候補者を評議員会に推薦することとし、令和7年6月10日開催の第13回評議員会において、上記候補者が理事並びに監事に選任された。

また、評議員会終了後に開催された第45回理事会において、松原裕理事が常務理事に、鈴木徹理事並びに中島靖理事が業務執行理事に選任された。